

取扱い注意事項

警告

- ノズルの先端は人に向けないでください。
- エアブローにより飛散物が目に入ること、また騒音性難聴になる可能性があるため保護メガネと耳栓を着用してください。
- 万一に漏れが発生した場合や破損時の安全確保のため、供給側に遮断弁を設置してください。

注意

- 油分、固形物が混入した空気は使用できません。供給流体には清浄空気（ろ過度40μm以下のフィルタを使用のこと）を使用してください。本製品内にドレンやゴミなどが入ると作動不良の原因となります。
- 供給流体は、製品のブローによって結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、露点温度を周囲雰囲気温度よりも低くしてください。
- 製品を落としたり、踏みつけたり、ぶつけたりしないでください。破損の原因になります。

●本製品を使用後は、必ずフック等に掛けてください。



- 本製品は仕様表に記載のパルス周波数範囲内でご使用ください。
- 本製品は圧力のバランスで動作するため、パルス動作が安定するよう十分な圧力と流量を供給してください。
- 供給ポート側の配管やノズルのねじ込みの際は製品の二面幅をスパナ等で押さえ、下記トルク範囲で締め込んでください。

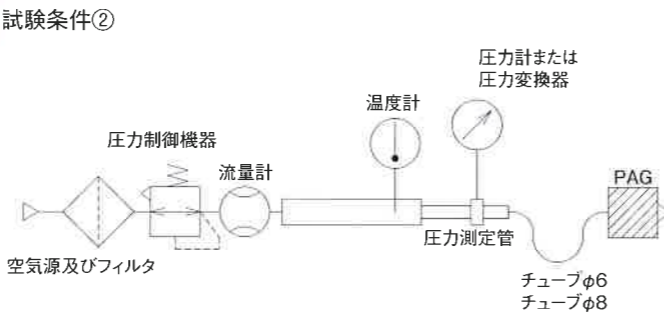
供給側配管推奨トルク：7~9N・m
ノズル側 推奨トルク：12~14N・m

- チューブは外面にキズの無いものを使用してください。また、供給ポート付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因になります。
- ノズル先端に無理な外力を加えないでください。破損の原因になります。

パルスブローエアーガン 配管条件による動作について（標準ノズル）

供給側の配管条件により動作が不安定になる場合があります。下表をご参照ください。

形式	使用圧力	チューブφ6			チューブφ8			試験条件②
		1000mm	3000mm	5000mm	1000mm	3000mm	5000mm	
PAG-2	0.35MPa	○	○	○	○	○	○	○
	0.5MPa	○	○	○	○	○	○	
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○	
PAG-3	0.35MPa	○	×	×	○	○	○	○
	0.5MPa	○	×	×	○	○	○	
	0.7MPa	○	○	×	○	○	○	
PAG-4	0.35MPa	○	×	×	○	○	○	○
	0.5MPa	○	×	×	○	○	○	
	0.7MPa	○	×	×	○	○	○	



注1：○：動作安定 ×：動作不安定（弊社試験条件②による）
注2：配管条件により圧力降下、流量不足が生じた場合、動作が不安定になります。
注3：ロングノズルの場合は別途お問い合わせください。

注意 ご使用になる前に、統合カタログ・ホームページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

株式会社コガネイ

□本社 □営業本部 □海外営業部
184-8533 東京都小金井市緑町 3-11-28
□技術サービスセンター TEL (042) 383-7172

- 営業所・出張所 ○駐在所
- 仙台 (022) 232-0441
 - 札幌 (011) 581-8977
 - 岩手 (019) 656-3705
 - 秋田 (018) 880-0522
 - 郡山 (024) 943-9802
 - 山形 (023) 643-1751
 - 宇都宮 (028) 684-2205
 - 群馬 (0270) 40-7651
 - 茨城 (029) 830-7076
 - 千葉 (047) 431-3161
 - 東京 (03) 6436-5481
 - 長岡 (0258) 31-8801
 - 西東京 (042) 383-7122
 - 北関東 (048) 662-6951
 - 南関東 (046) 220-1851
 - 甲府 (055) 267-3131
 - 上田 (0268) 23-5800
 - 富山 (076) 482-5164
 - 金沢 (076) 292-1193
 - 福井 (0778) 52-1288
 - 静岡 (054) 286-6041
 - 浜松 (053) 459-1855
 - 長野 (0265) 83-7111
 - 名古屋 (052) 745-3820
 - 刈谷 (0566) 84-5336
 - 滋賀 (0749) 30-0507
 - 京都 (075) 344-8811
 - 大阪 (06) 6398-6131
 - 松山 (089) 922-8060
 - 徳島 (088) 667-1570
 - 神戸 (078) 371-0511
 - 岡山 (086) 241-8671
 - 広島 (082) 546-2351
 - 福岡 (092) 411-5526
 - 熊本 (096) 383-71715
 - 北九州 (093) 965-6625
 - 南九州 (0986) 38-0133

●記載されている仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
2017年4月3日 初版 300 KGAT ©KOGANEI CORP. PRINTED IN JAPAN

NEW
Products

<http://www.koganei.co.jp>



パルスブローエアーガン
PAGシリーズ PAT. PEND.

圧縮空気はタダじゃない！！
圧縮空気を約50%削減

世界初 電気不要パルスエア発生ユニット内蔵

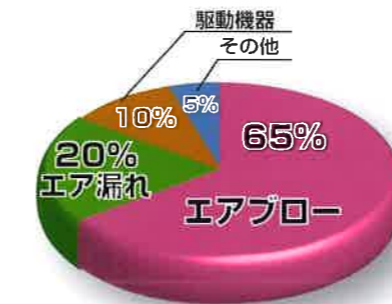


ノズルバリエーション
標準ノズルオリフィス径
φ2mm, φ3mm, φ4mm
ロングノズル (オリフィス径 φ2.3)
150mm, 200mm

軽量設計
165g
※本体のみ

電気不要
バルブ内蔵
パルスエア発生ユニット内蔵
圧縮空気を配管するだけ

エアブロー
工場エアの削減対策！



圧縮空気をつくる空気圧縮機は工場全体の電力量の約20%を占めると言われています。その中で、圧縮空気の約65%がエアブローで消費されることが多いようです。パルスブローエアーガンで圧縮空気の消費量を削減し工場の省エネに繋がしましょう。

原寸大！

除塵効率 UP

パルスブローエアは、除塵対象物に断続的に衝撃を与えることで連続エアブローと比べ除塵効率が良いと言われています。

仕様

項目	形式	PAG-□
使用流体		空気
給油		不可
使用圧力範囲	[MPa]	0.35 ~ 0.7
使用温度範囲	[°C]	5 ~ 50
パルス周波数範囲	[Hz]	5 ~ 15
配管接続口径		配管側：Rc1/4 ノズル側：G1/8
ノズル径	[mm]	標準ノズル：φ2、φ3、φ4 / ロングノズル：φ2.3
質量	[g]	165 (本体のみ)

注1：使用される空気は、油分、固形物などを含まない清浄空気を使用してください。
ドレンやゴミなどがパルスブローエアガンの中に入ると作動不良の原因となります。

注2：出荷時、ノズルは添付となっております。ノズルのねじ部にシールテープを巻いて組み付けてください。

注3：本製品は内部にグリースを使用しています。

注文記号

●本体

PAG-□

ノズル径
N：ノズルなし
2：φ2mm 標準ノズル
3：φ3mm 標準ノズル
4：φ4mm 標準ノズル

●アディショナルパーツ (ノズル単体)

PAGZ-□

ノズル径
2：φ2mm 標準ノズル
3：φ3mm 標準ノズル
4：φ4mm 標準ノズル
45×150：φ2.3mm 長さ170mm ロングノズル
45×200：φ2.3mm 長さ220mm ロングノズル
(ロングノズル)

●特殊製品ご紹介

パルスブローエアユニット
インラインタイプ
A180-4A-11W

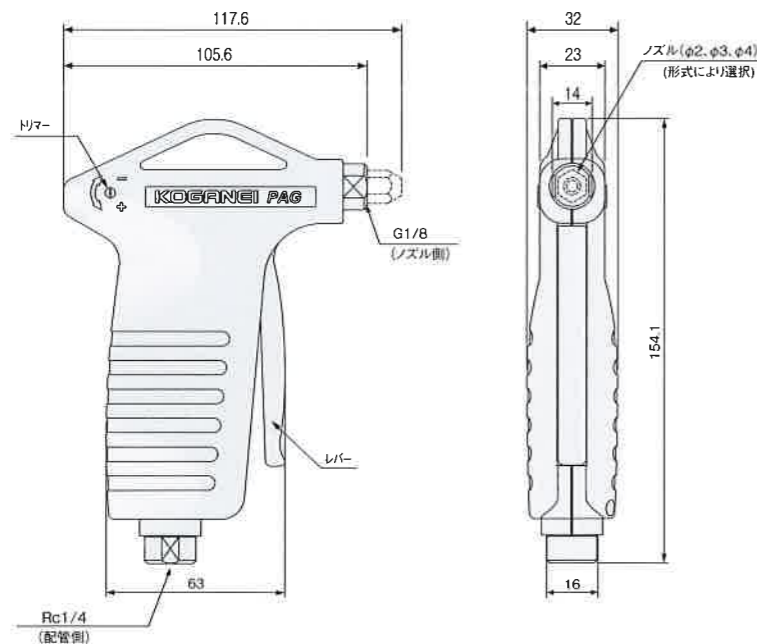
※詳細は最寄の弊社営業所へ
お問い合わせください。



寸法図 (mm)

●本体

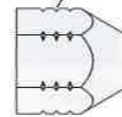
PAG-□



●標準ノズル識別

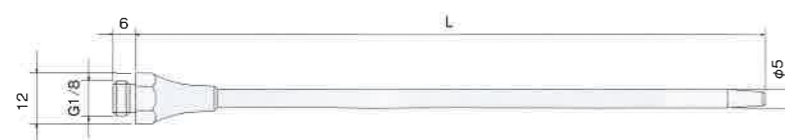
スリット数	ノズル径 (mm)
2	φ2
3	φ3
4	φ4

ノズルサイズ識別スリット



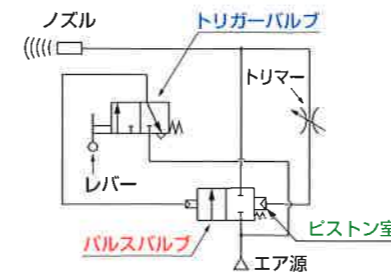
●ロングノズル

PAGZ-45×□



形式	L(mm)
PAGZ-45×150	170
PAGZ-45×200	220

作動原理



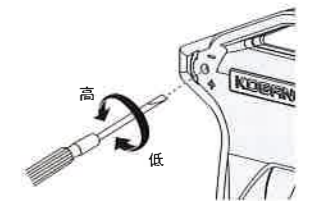
1. レバーを引くとトリガーバルブからの信号によりパルスバルブが開く。
 2. パルスバルブが開きノズルからエアが吐出される。
 3. パルスバルブからの吐出エアの一部はトリマーを通り、ピストン室に蓄圧されていく。
 4. ある程度蓄圧されるとパルスバルブが閉じ、ノズルからの吐出エアが止まると同時にピストン室のエアが排出されていく。
 5. ピストン室のエアがある程度排出されると再びパルスバルブが開きノズルからエアが吐出される。
- 以降3～5の繰り返し ※トリマーによりパルス周波数調整可能

周波数調整方法

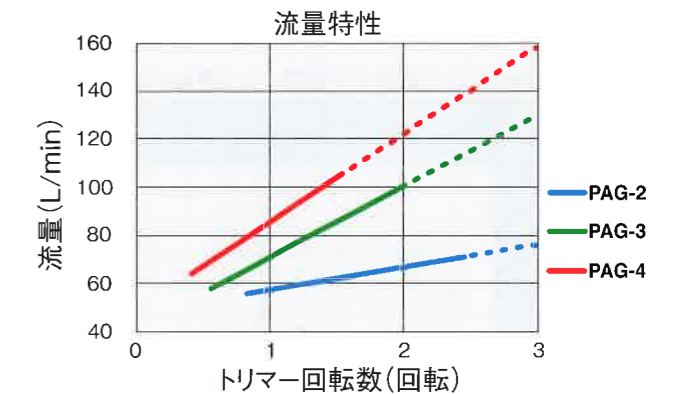
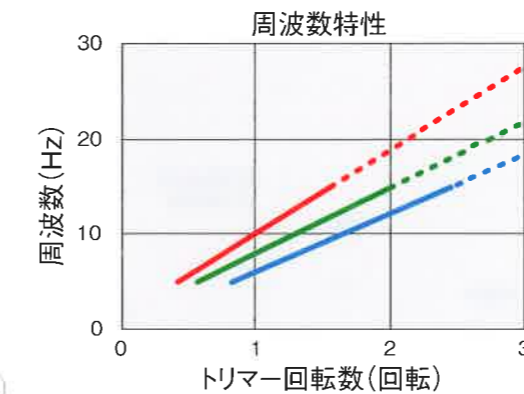
右図の周波数調整トリマーを回すことで、パルス周波数を調整することができます。
調整には精密マイナスドライバーをご使用ください。

- ＋方向 (反時計回り)：周波数が高くなります。
- －方向 (時計回り)：周波数が低くなります。

注：トリマーは反時計回りで周波数が上がり時計回りで下がりますが、
トリマーを全開全閉したあと、必要以上にトリマーを回し過ぎると構成部品が破損する
原因になります。

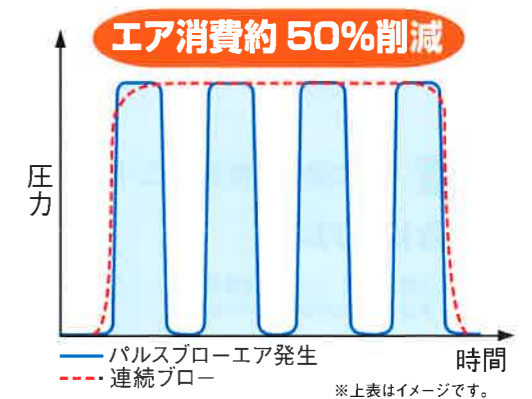
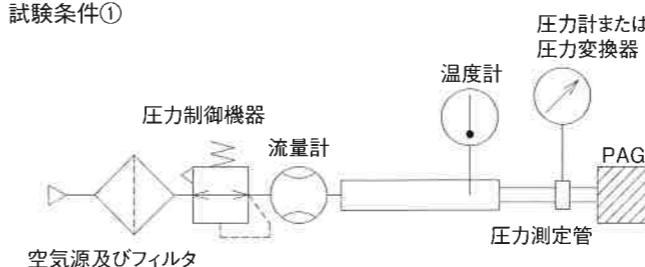


トリマー回転数に対する周波数特性及び流量特性 (標準ノズル)



- 注1：弊社試験条件①による。
注2：配管条件や使用するノズルにより周波数特性と流量特性は異なります。
注3：仕様表に記載のパルス周波数範囲内 (5 ~ 15Hz) でご使用ください。
注4：ロングノズルの場合は別途お問い合わせください。

試験条件①



※上表はイメージです。